

速記録

第 6 8 回鴨川府民会議

日 時 令和 7 年 6 月 1 8 日 (水)

午後 1 時 3 0 分 開会

午後 4 時 0 0 分 閉会

場 所 京都ガーデンパレス 2 階 「葵」

〔午後 1時30分 開会〕

1 開 会

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

失礼いたします。定刻となりましたので、ただいまから第68回鴨川府民会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。進行役を務めさせていただきます京都府河川課の藤田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

座って進行させていただきます。

本日から、第9期のメンバーということで、新たなメンバーの皆さん5名が加わっております。1名急遽欠席になっておりますが、本日は、4名の方が参加していただいております。後ほど一言ずつ自己紹介などをお願いしたいと思っております。

また、本日は、所用により川崎副座長が御欠席となっております。ほか、梶田様、河村様、坂下様、澤様、諏訪様、田中様、中村様が所用により御欠席となっております、また、本間様、征木様が少し遅参されるということで伺っております。よろしくお願いいたします。

次に、お手元の資料の御確認をさせていただきます。資料といたしまして、次第、出席者名簿、配席図、その次に、右肩に番号を振っております資料1から資料6、また、資料番号がございませんが、鴨川増水の記録の資料がついております。そのほか、別冊といたしまして、きょうとの外来種ハンドブックというものと、京すずめ文化観光研究所様の京都への恋文の資料が配布されていると思いますが、不足等はございませんでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

それでは、少し時間を頂戴いたしまして、今回、第9期のメンバーとして就任された皆様から一言ずつ御挨拶をいただければと存じます。

まず、雨宮様、よろしくお願いいたします。

○雨宮

失礼いたします。今期から2年間でしょうか、御一緒させていただく雨宮でございます。

名簿一覧の中には、障害者芸術推進研究機構というところの所属になっておりまして、何かというと、障害のある方のアートを応援し、そして、多くのアーティストとオーディエンスを結びつけていこうということの仕事をしております。ですので、鴨川のこれからを考える中で、アート、芸術の切り口についても、またいろいろ御提言できたらと思いま

すし、何を隠そう、実は京都府のOBで、長いこと広報課長をしていたときに、結構鴨川のことについて、北山とともに手を突っ込んでいましたので、昔の話も含めて、何か御一緒できて、お役に立てればと思っていますので、長くなりましたが、よろしくお願いいたします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

次に、大原様、よろしくお願いいたします。

○大原

みなさん、こんにちは。大原義盛と申します。

名簿では、私の個人的な会社なんですけれども、銅駝校というのが鴨川に面してありまして、そちらのほうの卒業生でして、毎日そこで陸上の運動をして、今もすぐ近くに住んでいますもので、朝から鴨川を走り回っております。何期か前に2年間委員をさせてもらっていたんですけれども、復帰というか、またちょっとやらせてもらえたらなということで応募させてもらいました。

あと、名簿のこれなんですけれども、実は同じく銅駝学区で、みそそぎ川、御存じか、丸太町から御池までの、三条というのかな、のみそそぎ川の会というのがございまして、長年会長をされている方がもう89歳ということで、次年度、もう今年度なんですけれども、引き継ぐことになっております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

続いて、近藤様、よろしくお願いいたします。

○近藤

こんにちは。今期より正式なメンバーとして活動させていただきます近藤と申します。

現在、京セラ株式会社のエネルギー関連の事業本部で営業企画をやっております。その前は、大学生のときに京都女子大学で、諏訪教授の下でプロジェクトの活動をさせていただきまして、御存じの方もいらっしゃるかと思いますけれども、鴨川に平安貴族風の看板が設置していると思うんですけれども、そちらのほうの更新活動とかを、京都土木事務所の皆様とさせていただきました。私自身も社会人になりまして、ちょっと新たな視点で鴨川の在り方というところを皆さんと一緒に議論できればなと思っています。未熟な点多々あると思いますが、皆様から教えていただきながら私も議論に参加させていただきたく存じます。これからよろしくお願いいたします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

続きまして、杉山様、お願いいたします。

○杉山

京都美術工芸大学の杉山と申します。よろしくお願いいたします。

生まれも育ちも東京で、ずっと東京だったんですけれども、昨年縁がありまして、こちらのほうで、大学で教えるようになって、今単身でこちらのほうで生活させていただいております。大学も唯一、実は校舎から鴨川が見えるところにあると、七条にありまして、自分が住んでいる家も宝が池というところで、川沿いにありまして、何かと縁がありまして、今回この会にも参加させてもらうことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

ありがとうございました。

次に、事務局から改めてのお願いがあります。鴨川府民会議につきましては、鴨川の河川環境の整備、保全に関する事項について建設的な議論をする場として皆様に御協議いただいておりますので、発言に当たりましては、その趣旨を御配慮いただきますようによりしくお願いいたします。また、なるべく多くのメンバーに御発言いただけるよう御配慮ください。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、金田座長様、進行のほう、よろしくお願いいたします。

2 議 事

○金田座長

金田でございます。

早速議事に入らせていただきたいと思いますのですが、一言だけお詫びを申し上げないといけないのは、鴨川府民会議が始まって以来、前回急に参加できなくなりまして、大変御迷惑をおかけしました。できればそういうことのないようにしたいと思うんですが、だんだん年を取っていますので、そうはいかないというときが出てきてしまいました。一言お詫び申し上げます。

それでは、本日は、議事のところに示してありますように、その他を入れて7件、議事が準備されています。順番にお願いしたいと思いますけれども、事務局からもお話がありましたように、新たに御参加くださる方々にお話をさせていただきたいのは、この会議は、鴨川条例という京都府の条例に基づいて設置されておりまして、ここで議論されたことは、管理者である京都府知事が尊重するという、そういう規定になっておりますが、この会議

に議決権があるというわけではありませんので、そのあたりを御配慮いただきますようお願いしたいと思います。

最初で少しくだしいことを申し上げましたが、早速議事に入らせていただきます。

まず、議事の1番目、令和7年度の鴨川等の整備についてでございます。

事務局から説明をお願いいたします。

○橋本（京都府京都土木事務所河川砂防課長）

失礼します。私はこの4月より京都土木事務所河川砂防課長を拝命いたしました橋本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、令和7年度に予定しております鴨川・高野川の整備について御説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

お手元の資料1を御覧ください。

今年度に予定しております主な整備内容について、位置図とともに記載しておりますので、順を追って説明いたします。

まず、右上の①を御覧ください。

高野川の上流にあります八瀬小学校の少し上流、左岸側の護岸が約20メートルにわたり崩壊しております。現在は崩壊が進まないよう土のうを設置して応急対応を行っておりますが、今年度はこの護岸の補修工事を実施いたします。

続いて、②です。

高野川の八瀬保育園の対岸、こちらでも左岸側で同様に約20メートルの護岸が崩壊しております。この箇所も土のうで応急対応中であり、今年度中に補修を行う予定でございます。

次に、左側の③を御覧ください。

鴨川では、土砂の堆積により、洪水時の流れが妨げられないよう、必要な河道断面を確保するため、定期的にしゅんせつを行っております。今年度は、以下の3区間でしゅんせつ工事を予定しております。矢印がありますけれども、上のほうから、志久呂橋から賀茂川通学橋まで、次に、荒神橋から丸太町橋まで、そして、七条大橋から塩小路橋まで。現場は一見しますと、土がたまっているように見えても、川床が低下して陸地化している場合もございますので、現地を確認しつつ進めてまいります。

続いて、右側の④でございます。

西賀茂橋から御薗橋までの区間、それと、北山大橋から北大路橋までの区間の左岸側の園路の舗装をやり替える工事を行います。これまで鴨川の園路は主に土系の舗装でしたが、

雨による掘れやわだちが発生しやすく、利用に支障が出ておりました。そのため、透水性、耐久性に優れ、クッション性もある高炉スラグ舗装へと順次更新を進めており、今年度もこの区間で整備を行います。

次に、⑤を御覧ください。

北大路橋の下流左岸では、河床の洗掘により低水護岸が損傷しており、現在は土のうで応急対応を行っております。今年度はこの護岸の復旧工事を予定しております。

続いて、左側の⑥、三条から四条の右岸、つまり、西側の区間になります。

上流の園路舗装と同様にやり替えを行っていく予定ですが、ほかの区間とは少し異なります。この区間は、納涼床の設置、撤去工事でクレーン車など大型車両が乗り入れることや、人通りが多いことから、上流で使用している高炉スラグ舗装ではなく、より耐久性の高い舗装を現在検討しているところでございます。周辺環境等との調和や利便性を考慮しながら、適切な舗装方法を選定し、決まり次第、この会議で御報告させていただきます。できましたら、今年度後半には工事を実施していきたいと考えております。

最後に、下のほうの⑦と⑧、鴨川の最下流部についてです。

鴨川では、約30年間の整備内容を示した鴨川河川整備計画に基づき、河川断面の拡幅工事を下流から順次進めているところでございます。今年度は、鴨川の最下流部に架かっております京川橋の下流右岸、左岸、そしてその上流左岸において護岸の整備を行う予定です。また、左岸の高水敷、すなわち園路部分につきましても、高炉スラグ舗装を実施いたします。これにより、桂川との合流点から京川橋までの約1.8キロメートルの区間が完成する見込みです。

以上、令和7年度に予定しております鴨川・高野川の主な整備内容について御説明いたしました。

○金田座長

ありがとうございます。

ただいまの令和7年度の鴨川等の整備につきまして、何か御質問や意見などはありませんでしょうか。

お願いします。どうぞ。

○戸田

委員の戸田ですけれども、御説明ありがとうございました。

ちょっと2点ばかり教えてほしいんですが、1つは、①とか②ですね。あと、⑤もかな。

治水対策という目的の下で護岸の補修をされていますけれども、これは何か出水とか、そういう洪水とかそんなものが影響したんでしょうか。私の知る限りやったら、最近そんなに大きな雨というのは降っていないようなイメージがあったんですけども、こういう護岸補修をしなくちゃいけないような何か災害がどのように起こったか、ちょっと教えてもらえるとありがたいです。

2つ目は、かなり昔から堆積土砂をいかに撤去するか、その問題がずっと検討されて、実際に工事されているんですが、どういう順番においてやるとか、そういう何か堆積土砂をどのような場所からどういうふうに撤去するかというようなもしお考えがありましたら、ちょっと教えてもらえるとありがたいです。

以上です。

○橋本（京都府京都土木事務所河川砂防課長）

失礼いたします。

最初の御質問の護岸の補修が崩壊に至った原因ですが、今回載せているこの3か所につきましては、いずれも落差工、段々になっているその直下流でございまして、ここは水の流れが非常に乱れて、洗掘したりするような箇所になってございます。大きな出水はなくとも、ちょっとした雨でも影響があったかと思われます。そういったところに特徴がございます。

2番目の質問ですけれども、しゅんせつの順番でございしますが、過去に、平成22年ぐらいいから約10年間、たまったところを逐次しゅんせつしてきた結果を分析しまして、おおむね現在から10年後の堆積具合を予測して河川を阻害するような状況になる箇所を抽出し、優先順位をつけまして、その計画に基づいて順次しゅんせつを実施しているところでございます。

以上でございます。

○戸田

分かりました。

もし可能でしたら、どういう考えの下にどういう場所を順次整備されているかということと何か教えてもらえるとありがたいなと思いました。

以上です。

○金田座長

ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

こういう、河川の浸食を受けた部分とか堆積を受けた部分の対応というのはいろいろと難しいと思いますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、2番目の議事に移らせていただきます。令和7年度の鴨川における橋梁工事等についてでございます。

事務局から説明をお願いいたします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

それでは、お手元の資料2を御覧ください。

本日は、京都市橋りょう健全推進課の杉田課長様に御出席いただいております。

それでは、杉田課長、よろしくお願いいたします。

○杉田（京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課長）

京都市建設局橋りょう健全推進課、この4月の人事異動で参りました課長の杉田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。以前、河川整備課にもおりましたので、本日御臨席の方の中に、いろいろとそのときにお世話になった方も多くいらっしゃると思います。また、初めての方もいらっしゃると思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。そうしましたら、着座して御説明させていただきます。

すいません、資料2を御覧ください。

右上にでも所属名を書いておいたらよかったですね。すいません。京都市橋りょう健全推進課でございます。令和7年度の鴨川等における橋梁工事・設計業務委託についてでございます。

まず、1枚目を御覧いただきまして、京都市におきましては、阪神・淡路大震災、また、東日本大震災を踏まえまして、橋梁の耐震補強のスピードアップ化が課題となっております。また、橋梁の老朽化も急速に進んでおりまして、これらを効率的、効果的、かつ、スピード感を持って取り組むため、平成24年度に、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」を策定いたしまして、鋭意これらの対策を進めているような状況でございます。

本日御紹介させていただきますのが、三条大橋の工事、それから、高野川の上流域になります花尻橋、これは設計業務のほうになりますが、こちらの2件について御説明させていただきます。

1枚おめくりいただきたいと思います。

まず、三条大橋についてです。三条大橋については皆さんよく御存じかと思っておりますので、

詳細については割愛させていただきますが、橋梁の概要については御覧のとおりでございます。

三条大橋については、もう工事は終わったんじゃないのと思われる方もいらっしゃると思いますが、一番初めに書いています、平成30年度から令和5年度にかけまして、木製高欄とか歩道の舗装、ライトアップ設備、いわゆる橋の上部の修景施設について先行して工事を実施いたしまして、おかげさまをもちまして、令和6年の1月に完了しております。

あと、今年度から実施しますのが、桁下の部分ですね。桁と、あと、橋脚等につきまして、耐震工事、補修工事を進めていくということで、令和7年度から令和8年度としております。

桁下部分の工事内容としまして、塗装の塗り替え工でありますとか、傷んだ鋼材に当て板をする当て板補修工法、それから、断面修復工、ひび割れ補修工、剥落防止工、防鳥ネット取付工等を想定しております。

それから、橋脚につきましても、P8橋脚といいまして、ちょうど下の写真、横長の写真を見ていただきますと、これ、左側が中京区側、右側が東山側となっておりますが、中京区側の一番端の橋脚をP8橋脚と呼んでおります。この部分の工事となります。それと、桁下の工事、桁の工事となっております。

交通規制の予定につきましては、P8橋脚周辺の遊歩道におきまして、通行止めは行わずに、遊歩道は幅員を減少して通行いただきながら施工する予定です。

それから、漁業への影響としまして、御覧のとおり、通常流れております低水位部分につきましては、鴨川の河道内の流路の切替え等を行わないということになります。

ほかの橋脚につきましても、また、来年度以降、補強工事を実施してまいります。川の中の工事となりますので、渇水期に限られた工事となります。それから、鴨川の流れを遮断せずに、切り替えての工事となりますので、今年度から、大体4か年か5か年ぐらいかけて、それぞれ橋脚を工事していくというような工事になります。長らく皆さんには御迷惑をおかけしますが、しっかりと工事を進めていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

それから、次のページ、花尻橋となります。場所が左京区八瀬花尻町になります。高野川に架かっている橋なんですけれども、国道367号線、こちらから大原の方面に行く国道367号線の、場所としまして、土井志ば漬本舗の本店があらうかと思います。そのすぐ北側にございます橋長28mの橋でございます。

事業予定としまして、今年度に橋梁補修設計業務委託を実施します。ですから、そんなに川の中に入るといような作業はまだ発生いたしません。

交通規制の予定はあります。橋梁点検車の使用時に片側交互通行を行う予定となっております。

漁業への影響は、先ほど申したとおり、ございません。

来年度以降に工事着手する予定となっております。

以上でございます。

特に三条大橋の工事につきましては、三条大橋、大変にぎやかな人通りの多いところでございます。安全には十分留意しながら、工事のほうをしっかりと進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○金田座長

ありがとうございます。

それでは、ただいま御説明いただきました橋梁につきまして、橋梁の工事につきまして、何か御質問。

お願いします。

○杉江

すいません、鴨川の会、杉江でございます。

これ、右岸の園路のちょうど今の橋脚、これ、補修なさるといことなんやけど、この今の下の左下のところに、赤でずっと塗ってあるとこの園路の部分、ここも何かいらわれるんですか。

○杉田（京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課長）

そうですね。一番右下の写真を御覧いただきたいと思います。ちょうど、みそそぎ川と遊歩道の間に橋脚が建っておりますので、この周辺、周囲につきまして、大体1mぐらいは切り下げるといような工事を実施しますので、そのときに若干遊歩道が狭まるということになるかと思っておりますけれども、またよろしくお願いいたします。

○杉江

最終的にはまた元どおりの幅が取れるということですね、河川敷、園路はね。

○杉田（京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課長）

そうです。

○杉江

ほんで、ここのほうの、別に今、あっこ、スロープ、下、実はあっこ、水たまりになっていたんですよ、昔ね。御存じやと思うんですけども。ほんで、みそそぎからあっこ、水出てたんです。下の川沿いのほうには、今の下の橋のほうの下のほうには水抜きのあるところがあるんですけど、別にそこをフラットになされるわけでもないんですね、最終的には。

○杉田（京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課長）

そうですね。基本的には原状復旧と考えておりますけども、そこも踏まえて京都土木さんとしっかりと調整したいと思います。

○杉江

そうですか。

ほんで、みそそぎのほうのどこから何かやっぱりクラックができてたりして水が出たりしていたんですか。そうでもなかったんですか、今。

○杉田（京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課長）

いえ、今回の工事につきましては、あくまで橋梁の補強工事ということになりますので、みそそぎ川の傷みというのは確認しておりません。

○杉江

分かりました。ありがとうございました。

○金田座長

ほかに何か御質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、今年度実際に工事に間もなく入るとするのは三条大橋ですけれども、あと、花、何だったかな、花尻橋が設計等に入るということでございます。

それでは、次の議事に移らせていただきます。

3番です。鴨川河川美化活動についてでございますが、これも事務局から説明をお願いいたします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

失礼します。京都府河川課の藤田でございます。

資料は3になります。

鴨川河川敷のごみ投棄放置状況の取組についてということで、これまでも鴨川では、ごみ問題が大きなテーマとなっております。今回新たなメンバーの皆さんも御参加いただいているということもございまして、おさらいということではございませんが、過去の経

過も含めて、取組について御説明したいと存じます。

資料3を御覧ください。

まず、1ページですが、平成28年度以降、インバウンドの増加や、コロナ禍の緊急事態宣言などによる営業自粛などがありまして、鴨川の河川敷のごみが増えてきたということでございます。通常取組としましては、京都土木事務所による年間335日のごみの回収などもしておりますが、なかなかそれだけではごみが減らない、特に夜のごみが多いというようなことも分かってきております。ごみのポイ捨ての禁止キャンペーンをしたり、この府民会議の中で議論をして、河川の環境整備などに努めておりますが、また、ボランティアの皆さん、鴨川を美しくする会さんでありますとか、学生ボランティアでありますとかといった方々にも御協力いただいておりますが、ハード面、ソフト面で対策を取っておりますけれども、なかなか減らない現状です。

ここの資料にはありませんが、コロナ前とコロナ禍を比較しますと、コロナ前とコロナ禍の比較で、鴨川全体でいきますと、令和元年から令和6年の比較でいくと、10%ごみが減っています。しかしながら、三条、四条間を中心とする繁華街部分に関しましては約40%のごみが増えているということで、極端にやっぱりコロナが明けてから、観光客が国内外から見えられる方も多いということで、ごみの量が増えてきたのかなというのが事業をする中での感想でございます。

ただ、ボランティアの皆さんとも御協力してやらせていただくんですが、やはりなかなか夜のごみというのは、パトロールもしながらもやっておりますが、威嚇をする方がいたりとか、粗暴行為をするような方がいたりとか、なかなかボランティアの方とかだけでは啓発も進まないということもございまして、いろいろな警察本部なりとの協力を得たりとかということで、発生源に対しての対策も進めているところでございます。

ごみ不法投棄の連絡会議としましては、ごみ箱を撤去したりとか、看板を立てたりとかというようなこともやってきましたが、なかなか進まないということで、今後またどうしていったらいいのかなというところを、また御議論をこれから進めていきたいと思っております。

2ページを御覧ください。

これまでの鴨川府民会議での意見交換ですが、先ほども申し上げましたとおり、ごみの不法投棄対策をしたり、鴨川の三条大橋のスロープの上にあるんですけど、そこに照明をつけたりとか、あと、下の土台のところにプランターを置いたりとか、あと、プランター

も捨てられたりしたこともあって、河川の護岸を少し上げたりとかいうようなこともいろいろしたんですが、なかなかハード対策では厳しかったなということで、元に戻ってしまうということもあります。

ボランティア方々とも意見交換し、いろいろやっておりますが、確かにボランティアをして、パトロールをするときは、ごみの量が翌日は半分に減るとか、直接発生源に対する啓発というのは、効果はあるのかなというところですが、なかなか限界もあるなというところがございます。過去の実施については、こちら、直近の実施というふうに書かせていただいております。右側が今説明したLED照明の設置であったり、プランターの設置なり、監視カメラの設置ということで、一定の効果はありながらも、やっぱりごみがゼロになるということはなかなか難しいのかなというところがございます。

次、4ページになりますと、ハード面としまして、スロープの花壇の高さを上げたとか、ポイ捨て禁止看板を4か国語で設置したとかいうこともしておりますが、直接啓発にはなかなかつながらなかったこともあり、令和5年9月1日から合同パトロールということで、1回目は警察官同行ということでさせていただきました。すごい効果はあったんですけど、やはり警官がごみの問題、ごみを捨てる方に注意するというのはちょっとやり過ぎかなということもあって、粗暴行為に関しては、警察は見えないところで待機いただくということで進めております。

そのほか、5ページになってきますと、京阪電車さんとか、鴨川沿川の企業さんとか、スターバックスさんとか、鴨川納涼床組合さんとか、様々な方々の御協力により実施の輪が進んできました。さらに、大学生で英語ができる方とかもいらっしゃって、外国人に対してアプローチをしていくというようなこともして、実施の輪はどんどん広がって、参加者もどんどん増えているといった状況でございます。

6ページを御覧ください。学生との実施が進んでいる中で、今年1月に伏見区で開校しましたアメリカのテンプル大学の皆さんとも御協力して、ボランティアという授業という形で参加いただいて、多言語によるアプローチが実現していただいております。この方々も様々なボランティアに取り組む、特に欧米の方々はボランティア精神が高いようなことですので、様々な、ごみだけでなく、例えばドナルド・マクドナルドハウスという施設鴨川デルタのところに建設予定ですけども、病院に行っている子どもさんの家族の方々の待機するような場所なんですけども、そういったところでの福祉ボランティアや家族との交流もしながら、ごみの啓発だけではなく、鴨川に関わってのボランティアをしたいとい

うようなことを言っていたいており、いろいろな多方面の協力が成り立ってきたのかなというところが現状でございます。

以上でございます。

○金田座長

問題は、解決まではなかなか行かない。いろいろ手を替え品を替えてやっていただいているということでございます。ちょうど鴨川べりにありますので、一言説明しておきますと、鴨川の賀茂大橋の西詰めの南側にお寺があったんですが、廃寺になっておりまして、その跡にドナルド・マクドナルド・ハウス京都という舌をかみそうな名前のものを造りまして、半分はマクドナルドが出して、あとの半分は京都府立大学と京都大学の共同で募金をして、募金が全部、今のところ予定どおり集まりまして、それで建設に入っているという状況です。環境は十分に注意しておりますので、今までよりは随分よくなると思います。ただ、あそこにサギの巣がたくさんありまして、それで、しばらくサギが巣立つまでは工事も待っていたという状況です。ということをちょっと、すぐ近くにありますので、報告しておきます。

何かほかに御質問など。

こっちから、太原さんから行きましょうか。

○杉江

相変わらずごみ問題の件ですけど、一向に減らないという状況ですけども、今、たしか情報では、京都市の観光客が、5,600万人来られているということで、特にまた外国のほうからは1,000万人を超え超えているという情報を聞いたことがありますけども、以前から私も、そろそろ鴨川にごみ箱の設置を検討したらどうかという提案をさせていただいておったんですけど、一向にたちごっこみたいな形になっておるので、1回京都市さんのほうも、ほれ、たしか圧縮してごみを固めるというようなごみ箱を、嵐山とか河原町とか、置いていただいているので、そういう状況をちょっと情報提供していただいたらありがたいと思いますけど、いかがですか。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

すいません、京都市まち美化推進課の多田納と申します。よろしく願いいたします。

今、杉江さんから御紹介があったのは、スマートごみ箱のことだと思うんですけども、事業者から市が寄附を受けるという形で、令和5年3月から順次設置をしております、現在、市内、紹介がありました嵐山地域であるとか祇園地域を中心に、14か所、28基、設

置をさせていただいています。

設置の方針といたしましては、今京都市が設置しております街頭ゴミ容器の入替ということを基本に考えておりまして、新たな場所にスマートゴミ箱を設置することは考えていません。ゴミ箱を新たに置くと、ゴミを呼び込んでしまうということもありますので、スマートゴミ箱の設置は、現在、市が設置している街頭ゴミ容器の入替えという形で考えております。

設置してからの効果につきましては、本年2月に、祇園地域に設置している街頭ゴミ容器を事業者からの寄附をいただいて全てスマートゴミ箱に入れ替えしましたが、スマートゴミ箱自体、容量が大きく、圧縮もするということで、回収回数というのも、普通のゴミ箱だったらピーク時は3回収して散乱を防いでおりましたけれども、現在は、回収回数も2回で、ほぼ散乱は見られていない状況で、地域の皆様からも「まちがきれいになった」という声をいただいております。

嵐山地域においては、道路事情等の関係もありまして、朝1回の収集しかできないという状況ですが、嵐山商店街の皆さんに御協力いただきまして、日中にもしゴミがあふれそうになった場合、ゴミ袋を交換していただいて、保管していただいて、収集の前に出していただく体制を構築しており、ゴミの散乱を防ぐこういった取組を行政、地域、事業者が三者連携して実施しております。

以上です。

○杉江

あれですか、どういうかね、そういうスマートのゴミ箱なんかを設置された地域のほうのいわゆる歩道のほうのゴミなんかは、現実問題やはり減っていつていますかな。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

まず、祇園地域では、毎週水曜日に、朝7時から祇園商店街の有志の方々が清掃活動をしていまして、まち美化推進課も毎週参加させていただいておりますが、ポイ捨てについては減っているのではと思います。

嵐山につきましても、メインストリートの長辻通にはほぼゴミがない状況になっていまして、今まで設置していた竹林の小径のスマートゴミ箱に加え、今回長辻通へのスマートゴミ箱の設置を地域の協力の下で実施したということで、地域からは、飲食店に置かれるゴミであるとか、お店のほうに渡されるゴミなどもだいぶ減ったと商店街の皆様から聞いております。

○杉江

なるほどね。そうすると、幾らちゃんと設置しても、地域住民なり企業、お店屋さんのほうの協力がなかったら、やっぱりなかなか管理が難しいというふうに捉えてんねんやけど、どうですかね、その点は。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

そうですね、今のところは、基本的には普通の街頭ゴミ容器でも、ちょっとあふれたり、回収が追いつかなくてあふれたりするところは、回収回数を増やすという対応もしているんですけども、基本的には、ゴミ容器周辺の方々に、ゴミ袋を交換していただいたりであるとか、ゴミ箱周辺の清掃をしていただいたりであるとか、京都市だけではなくて、地域、事業者の方々の御協力をいただきながら、進めさせていただいているというところでございます。

○杉江

なるほどね。いや、せっかくそうやって近代的なスマート的なゴミ箱、そういうのを設置して、よしんば、例えば鴨川のほうの各入口とかそういうところにも設置した場合、結局それはそこで集まっても、当然地域の住民の方も、一般家庭ゴミも入ったりも考えんらんし、というて、本当に河川敷、園路のゴミなんかが減るかというたら、それをまた管理するというか、そういうのもまた必要かなと思ったりすんねんやけど。いずれにしても、やはりそういう、以前、私どもがパトロールしたり、また、指導したときには、ゴミ箱があったら入れるのにと、ないからここにほかして帰んねんやという声も多々あったので、そうすると、さあ設置したから、それでもう整ったから、ゴミがそこに集中するやろという考えはちょっと甘いかなと思ったりもするのでね。

それと、どうなんですかね、最終的に、ゴミのほうの回収した場合のほうの量なんかはどうです。以前ほかされたん、集まってあるんか、ゴミ箱の分だけの回収した分の量なんか、増減はいかがなものでした。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

スマートゴミ箱は、ゴミ箱自体の収容量が多くなっているので、普通の街頭ゴミ容器では90リットルのゴミ袋を使っていますけれども、スマートゴミ箱だと150リットルのゴミ袋を使って、しかも圧縮するので、ゴミをたくさん収容できています。普通の街頭ゴミ容器よりも、5倍ぐらい入ると言われております。収集量としては、やっぱりゴミ箱が、容量が大きくなることで増えておりまして、新たな場所に置くと、基本的には、そこにゴミ

が集中するということは間違いないのではと思います。

鴨川に設置することについては、京都市としては意見を遠慮させていただきますけれども、スマートごみ箱については、まだ設置し始めてから3年目なので、しっかり検証も含めてさせていただかないといけないなと思っています。

○杉江

たしか四条交番のところにありましたね、一時、ごみ箱。交番の。たしかあったと思うねんやけど、今はもうなくなったのかな。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

四条交番の前にごみ容器を設置していたのは、大分前の話かなと思います。

本市の街頭ごみ容器は、スマートごみ箱も含めまして、約300基ほど置かせていただいています。平成20年代前半には700基ぐらいおいていたんですけれども、家庭ごみの有料化によって、家庭ごみの不法投棄が増えてしまったり、テロ対策等により順次撤去を進め、現在の数になっております。

スマートごみ箱にも、事業者のごみであったり家庭のごみであったり、よく不法投棄されており、少し困っているという現状もあります。

○杉江

そうすると、それは分別やないんですね。無差別ですね、ごみは。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

そうですね。スマートごみ箱は、燃やすごみ用と資源ごみ用の2基1セットで置かせていただいておりますが、普通の街頭ごみ容器のときに比べると、分別はされているのかなという気はします。

不法投棄に関しては、結構ごみ箱の横に置かれたりであるとか、ごみ箱にまだ入るのにごみ箱の上に置かれたりということは、祇園地域等では発生しています。

○杉江

ありがとうございました。

府民会議の事務局のほうとしても、いろいろとごみ箱についても検討なさっていると思うんですけども、置いたほうがええんか置かんほうがいいんか、どっちかということで、これからも大変な、これは永遠に続くと思います、ごみ問題はね。だから、そういう面において、やっぱり地域のほうの方々からの協力も必要やと思いますのでね。分かりました。またいい情報あれば聞かせていただいたらありがたいです。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

事務局から、ごみ箱に関して先進地域を調査しましたので、報告をさせていただきます。

○西村（京都府建設交通部河川課管理係技術指導員）

失礼します。河川課の西村でございます。座って説明をさせていただきます。

前回の府民会議で杉江メンバーから、先ほどの御発言と同様の、新しいごみ箱が導入されているところもあるというお話を聞きまして、事務局でも、導入をするかどうかも含めて、今後検討していかなければならないのかなということで勉強を始めました。

本日傍聴に来られている、スマートごみ箱の販売・設置に関わっておられる株式会社フォーステック様に御相談をしまして、既に設置から4年も経過している東京表参道のスマートごみ箱を先日調査してまいりました。

設置状況、利用の状況、さらには、ごみの圧縮方法などを、実際のものを見せていただいて、勉強してきたところでございます。さらに、ごみ箱を設置されました原宿表参道櫛会という商店会の方に導入に至った経緯等をヒアリングさせていただきましたので、御報告させていただきます。

まず、先ほどの櫛会にお話を聞きますと、京都市からも、今あるものを置き換えているというお話がありましたが、先方も同じような形で、もともと固定のごみ箱があったところをスマートごみ箱に置き換えているというお話をされておりました。

もう少し詳細に話を聞きました。東京表参道を御存じの方がいらっしゃるかもしれませんが、複数の車線があり、広い歩道がある通りです。いわゆる商店街というよりは、大きなビルが多数ありまして、非常に華やいだ通りでした。そこに等間隔にスマートごみ箱があるんです。元々約50メートルに1か所ぐらいごみ箱が設置されていたのですが、それをスマートごみ箱に置き換えておられました。調査した日は、非常にお天気がよくて、汗ばむような陽気の中で、皆さんジュース等を片手に歩いておられ、それをごみ箱に入るところを見ていたのですが、皆さん正しくごみ箱に入れて、ポイ捨てするような人は誰もいない状況で、非常にきれいな街並みが保てていることが印象的でした。先ほど杉江メンバーが、嵐山のことをお話をされていましたが、東京表参道には、ポイ捨てごみは一切ありませんでした。

商店会の方にお聞きしますと、以前の固定タイプのごみ箱のときは、ごみがあふれて、さらにごみのごみを呼ぶような状況であったと話をされてました。このごみ箱を、まちづくりを考える上で残しておくのか、撤去するのがいいのかという、議論をされる中で、ご

み箱を残すという結論になったというお話をされました。

現在、ごみ箱については、最新のスマートごみ箱に置き換えて、先ほど多田納課長が説明されましたものと同じ圧縮するタイプとして、センサーにより、ごみが一定量になりますと圧縮し、大体5倍の容量が入るということです。ちなみにペットボトルとかガラスの瓶なんかは圧縮されてしまうと、割れてしまったりしますので、それ用の非圧縮タイプのごみ箱も横に置いてあり、正しく仕分をして入れていただけるように、ごみ箱が2台3台と並んでいるというのが標準的な置き方ということです。

先ほどのセンサーで、適切なタイミングでごみの回収ができるとともに、トラブルがあったら直ぐに関係者に連絡が行き、対処できるため、円滑な運用ができているというお話をしていただきました。

また、定期的にごみ箱本体を雑巾でふき、清潔に保っているということもあり、見た感じ、ごみ箱には見えないような、都市の景観にマッチしていました。東京表参道では、ごみ箱に、企業の環境に対する取組等のラッピングをされまして、企業から広告料として清掃協力金を頂いて、ごみの回収・処分の費用に充てているとのことでした。

もともとあった固定のごみ箱は商店会が置いていたものであり、置き換えたごみ箱についても、商店会が、観光庁の補助金を活用して設置したとお話をされました。

商店会の方からは、国内の主要な観光地は、先ほどの嵐山の例もありますが、テロ対策等の観点から、ごみ箱を撤去しているが、海外の観光地等を見ると、どこの都市にもごみ箱はあるということをふまえ、ごみ箱をなくすのか、それとも残しておくのかということが、非常に大きな議論になったということで、ただ、まちづくりの中でごみ箱は必要と考え、残したということで、これからも維持していくという強い決意を話されました。

調査の報告は以上でございます。

○金田座長

ありがとうございました。

大原さん、さっき手を挙げておられました。お願いします。

○大原

今の議題について幾つかお話しさせていただきます。

まず、ドナルドハウスのことを説明していただいた。ありがとうございます。先ほどと重複しますが、私、ほんまに80メートルぐらいのどこ、鴨川から80メートルぐらいのどこに住んでまして、大体1年間に350日ぐらい、鴨川に毎朝おります。範囲はちょっとまたあ

れですけども。ドナルドハウスの裏、お寺やったときに、物すごく汚かったんです。ごみもいっぱいあったし、中側から木が生えていて、それ、府とか市とかも、人の土地やしみたいだったと思っているんですが、工事が始まってきれいになって、大変喜んでいます。ドナルドハウスができたらもっときれいなのかなというふうに思っているんですけども。

本題のほうですけども、ポイ捨ての問題、ごみ投棄、これというのは、三条のことなんでしょうか。それとも、北山からずっと、勧進橋、もっとあれのことなんでしょうか。何かこの資料を見ますと、さっきからの議論を聞いていますと、三条のあの若者が多いところの話かなというふうに思っていて、それはそれでいいんですけども、全体的なお話にも展開していくのかなと思っていて、

あと、直近の取組ということですけども、我々銅駝学区自治連合会、あと、立誠の自治連合会、毎月清掃活動をやっています。これ、載せてもらっていないのが、ちょっと「あれ？」と思っています。私も参加しています。あんまりしていませんけども。土曜日にね。毎朝ジョギングしながら、袋を持ってごみを集めてはる人もいはるんですよ。走りながら、ごみランというて、格好ええなと思って見てるんですけども。あと、おばあさんとかおじいさんで、袋を持ってごみを集めてはる人、10人、20人ちやいます。グループではありません。あと、SNSなんかで、最近グループも見ます。外国人の人らが集まってやってはるグループ。多分杉江さんも知ってはると思いますけど。あと、もともと町の清掃をやるというグループなんかも取り組んでくれてはる。それはいいんですが。

皆さん御存じのように、今まで10やったもんが30とか40とか、もっと100とかになっているわけですね、観光客の数が。そしたら、コンビニの売上げも、言うてるように、今まで10やったんが100とかになっている。その90は何かいうたら、ごみですよ。ごみは増えてるんですわ。ごみが増えているのは間違いない。ごみが増えているという観点が抜けてるんちゃうかなと思っているんです。ごみが増えているんですから、観光客とともに。そうやってホテルに泊まらはる数と同じく。なので、今までと一緒にごみの量やったら、どんどん減らしていこうとか、ごみ箱の数どうのこうのという話になるんかと思うんですが、基本的にそこに焦点を当てるべきではないかなというふうに思っています。

あと、これ、ポイ捨てと言うと、僕の私見、何か僕自身のあれなんですけど、たばこのポイ捨てというのをすごく何かイメージしてしまうんです。実際に空き缶とか、空き缶と一緒に何かお酒のつまみとか多いです。サンドイッチの袋とか多いです。最近コンビニ、有料になったから、コンビニ袋を見なくなったけども。直に持っているからよけい散乱し

ていく。そこなんですね。たばこのポイ捨てしはる人ら、たばこの吸い殻ってごみやと思ってはらへんですよ。まち美化さんと一緒に実は僕、路上喫煙禁止のやつを思いっきりやらせてもらって、寺町商店街、河原町商店街、二条繁栄会、全てに路上喫煙禁止のキャンペーンというのを私やらせてもらいました。鴨川でも、たばこを思いっきり吸うてはります。たばこの吸い殻、むちゃくちゃ多いです。府立病院の中に喫煙所ってないんですが、府立病院の業者さん、府立病院の職員さんも、もちろん患者さんも、鴨川が喫煙所やと思ってはる。何度か府立病院には意見させてもらったんですけども、一向に聞いてもらえない。自分が持っている携帯灰皿に捨てはる人らが多いですけども、ふだん犬の散歩しながらたばこを吸うてポイ捨てしはる人がいはる。実際に注意なんかもさせてもらったりするんですが、おまえの道かって、おまえの道かと言われるんです。僕の道ちゃうけど、みんな道や、みんなの鴨川やということで。

これ、何が言いたいかといいますと、ごみのポイ捨て禁止、まさに禁止ですけども、禁止というのよりか、あくまで私の意見ですけど、きれいな鴨川をつくりましょうというような、何というんか、禁止じゃなくて、きれいにしましょうというような間いかけというか、打ち出しでできたら、進めていってもらったりできひんかなというふうに、看板なんかもね。何か観光客の人らが来はって、禁止禁止というて赤いあれでなっているよりか、鴨川きれいやろ、京都きれいやろ、あんたら協力でもっときれいにしたい、だから手伝ってほしい、協力してほしい。そんなふうな何か看板とか、そういうふうなイメージをつくるような何か取組はできないかなというふうに思っています。

あと、何かごみの話で、僕、河原町三条の近くにも住んでいますので、河原町三条の角っこに、圧縮する、何というの、ハイテクごみ箱、見えています。観光客の人もむちゃくちゃ多いです、外人が。写真撮ってはる。記念撮影してはる。いいことやなと思います。あのごみ箱について、新聞でも拝見させてもらいましたけど、今企業の寄附を募ってやったと。知っている企業に声をかけたのか、知らん企業も、新聞とか、何か募集していますよという広告を見て寄附ができるのか、できたのか、ちょっとその辺、よかったから聞かせてほしいなというのと、じゃあ、そうすれば、個人の人でも、小さな会社の人でも、京セラとかじゃなくて小さな会社の人でも、そのごみ箱寄附したいわと、丸々じゃないけど、5万円でも1万円でもというような形で集めることはできないのか、集めたらどうなのかと。

あと、増やす計画はないとおっしゃっていたのか、ちょっと聞き漏らしましたが、目

標数とかあるんでしょうか。ごみは増えてるんやから、ごみは当然増えなあかんと思うんです。ごみ箱を置くか置かへんかの議論は、永遠に続くとは思いますが、ごみは増えているわけですから。

1つそれと、あと、すいません。すいません、まとめ切れてなくて、申し訳ないですが、以上です。よかったら回答ください。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

河川美化ボランティアをしていただいてありがとうございます。情報が、あまりこちらでも知らなかったのもので、今後やられることであれば、ここに載せるとかだけじゃなくて、一緒にやりたいなと思っておりますので、こちらが活動する日をお知らせしつつ、そちらでやられる日も確認させていただいて、調整したいと思っておりますので、よろしくお願いします。

あと、たばこの話ですけど、たばこだけじゃないんですが、空き缶とかも大変多いんですね。やはり発生源というか、製造者責任というか、そういったところへ実際訴えているところでもございまして、行政から企業に売った場合に、我々企業は税金を納めてるんやないかというような対応もあるんですね、実際。それをどう解決するかということで、納涼床組合さん、今日ちょっといてらっしゃらないんですけど、お客さんの立場で、鴨川の納涼納涼床から見える鴨川に缶が落ちているよと。メーカーを見たらビールメーカーだったりとか、たばこだったりということもあって、京都支店へ直接手紙を書いたり、営業担当者に話をしに行ったりして、いろんな場面でアプローチをかけているんですが、今のところ来ていただけていないというのが現状でございまして、ただ、東京の渋谷区でもそういう同じようにごみの散乱や路上飲酒、たばこのポイ捨てもあり、そういう現状があって、東京渋谷区では、本社にアプローチをしたところ、協力の意思是ホームページなどで出させていただいていることもあるので、私どもも、京都の営業所にアプローチをするのではなくて、東京本社のSDGsやサステナビリティ担当へアプローチを始めているところでして、力を入れていきたいなと思っております。

鴨川のごみの量ですけれども、確かに、先ほど申し上げましたとおり、三条、四条が特に多いので、ここで取り上げさせていただいているということでございまして、全体でいうと、10%ぐらい減っているんです。コロナ前の令和元年と令和5年5月以降のコロナ前、コロナ明けの比較でいうと、全体で10%減っているんですが、御池大橋から四条大橋の辺りのごみの量だけが40%ぐらい増えています。恐らくひとりあたりのごみが増えたという

よりは、来られる方が増えているんだろうなと思います。そういったことがあるので、実際に毎月パトロールをして、声かけをして、インバウンドに対しては英語でやるようにもして、取組を進めていって、その参加者がどんどん増えていっているのも、もしかすると回数を分けてとかいう形で、特に週末がごみが多いので、そういう形を進めていこうと思っております。

それと、きれいな鴨川、きれいな京都にしようよというような声かけ、それは、当初は赤い誘導棒を持って、ごみのポイ捨ては駄目だよみたいなことをやっていたんですけど、鴨川にたまたま来た人で、座っていたら、何か棒を持ってこられて威嚇されるような印象になるようでは駄目だろうということで、英語でもそうですけど、ようこそ京都へ来てくれました、きれいにしましょうねという声かけを、日本語でも英語でもするようにして、中国人とか韓国の方には、私どもも不慣れなので、英語に加え、ポケトークを使って発音をして、アプローチをするように様々な工夫をしているところですので、もし御一緒されるようなことがあれば、また御意見も頂戴しながら工夫していきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

次に、圧縮のごみ箱の寄附については、京都市さんのほうからお答えさせていただきたいと思います。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

まち美化推進課、多田納でございます。

京都は、門掃きの文化であったり、地域の一斉清掃という活動が行われていたりするのは、ほかの都市ではそんなにはないのではと思っていまして、京都市としましても、皆様のそういった活動に京都市のまちの美化というのは支えられていると感じております。本当にありがとうございます。

スマートごみ箱の寄附の話なんですけれども、市から積極的に寄附を求めているわけではなく、事業者からそういったお話があったときに、いろいろと調整させていただいて、設置をさせていただいているというところでございます。

まず、廃棄物処理業者の木下カンセーさんと、令和4年12月に協定を結ばさせていただいて、今後も、令和13年度まで1年に2基ずつ寄附いただけるということになっているというのが一番最初の話でございます。

また、祇園のスマートごみ箱は、本年2月に設置させていただいたところですけども、それは、去年の4月に、早朝、祇園の市の街頭ごみ容器周辺が散乱していることが切り取

られてXで散乱されてしまったということがあり、その状況をSNS等で見られた埼玉県
の航空機のファイナンス事業者の社長が、「何かお力になれないか」ということでお話を
いただきまして、1年ぐらい調整させていただいて、2月に設置させていただいたという
事例があります。

さらに、嵐山地域では、地域と行政でゴミ課題サミットという座談会をしておりまして、
その中で散乱ゴミ対策についていろいろ議論していたところ、人力車事業を展開されてい
るえびす屋さんがスマートゴミ箱を寄附していただけるというような話があり、それも調
整して設置させていただいております。

また、ゴミの量が増えているというのは、それは観光客が増えてゴミが増えるというの
はそのとおりだと思いますけれども、それをゴミ箱で処理するのかということもあります
が、まずはゴミは持ち帰っていただくというところを啓発させていただいているところ
はございます。

京都市は、行政が設置するゴミ箱というのは、政令指定都市の中で一番多いです。約300
基設置していますが、例えば大阪市とか横浜市などは、行政が設置しているゴミ箱ってゼ
ロなんですね。

京都市は、観光地という側面もあって、しっかりゴミ箱を設置させていただき、行政の
税金を使用させていただいて回収等もさせていただいており、現状、観光地等も含めまし
て、必要な場所にはゴミ箱はしっかり設置させていただいていると思っております。

これまで散乱が非常に多かったところというのが、特に祇園とか嵐山だったんですが、
そこについてはスマートゴミ箱に入れ替わっておりまして、現在、京都市がゴミ箱を置か
せていただいているところで、散乱がひどくて絶対スマートゴミ箱に換えないといけない
というところも少なくなっていまして、京都市としましては、今積極的にスマートゴミ箱
を寄附してくださいというような形は、取っていないという状況でございます。

以上です。

○大原

ありがとうございます。

ちょっとさっき漏れていたこと2つ。

1つは、観光客の人、それも外国の人。朝、清水寺に行ってから、稲荷に行って、あそ
こ行って、ここ行って、ここ行ってという計画の中で、1回も部屋に帰らはらへんですよ
ね、夜まで。それまでずっとゴミを持ってというのは不可能やと思うので、やっぱりそれ

は、この会議だけではなくて、もっと大きなあれなのかなというふうには思いましたが。

あと、実はよく注意をして、注意というか、声かけをさせてもらって、絶対に言われることが、鴨川でたばこ吸うてええと思ってはるんですよ。多分この中にもいはるんちゃうかな。鴨川は公園ですし、京都市の公園内というのは全面喫煙禁止なんですけども、それがどこにもうたわれていないし、土木事務所なり公園事務所に電話して、やっとその職員さんが常識あったら回答があるという状態で、市民全員知らはらへんし、観光客なんかもっと知らはらへんし、京都市は路上喫煙禁止って、大阪もこの間、先々月からなりましたけど、そんなとこ、珍しいか、ほかのどこではないですから、ほかのとは違う常識を持っているわけですね。それについての告知は一切されていない。アリバイみたいに条例だけつくって罰則はない。過料のとはありますけども。そんな状態。

ここでする議題かどうか、もっと枠の広い議題ではあるとは思いますが、せめてここで、鴨川の条例みたいな形で、鴨川でごみしたら罰則付きのみたいなぐらいの取組。今日もこの会議があるからと思って、以前から、前回、大分前にやらせてもらっていたときも、私のテーマとして、鴨川にいっぱい看板があります。僕がぱっと見るだけでも28とかあるんです。全部写真に撮ってあって、位置が悪いとか、向きが悪いとか、消えているとか、後ろを向いているとか、崖を登って行ってやっと見える看板とかいっぱいあるんですけども、その中に、そういったこと、何も入っていない。バーベキュー禁止みたいなのはある。鴨川をきれいにしましょうというのも何か幾つかはあります。そんな中で、ちょっとその辺も、別の議題というか、提案になってしまうかもしれんけど、看板の在り方とか注意、啓発の在り方、せめて鴨川の中でできないかなというふうに思っています。

インバウンドのお客さん、朝7時ぐらいでも、河原町ぐらい、観光客の外人の人、鴨川にいはります。昔の河原町ぐらい。別にごみはしてはらへん。どっちかいうたら、若者とか、何か家帰んの嫌なんかなみたいな人らが酒盛りしているというのがごみにつながっているというふうに私は分析しているんですけども。そんな人らの常識を変えていくのは難しいけども、それにも取り組まなアカんし、今言ったように、条例みたいなことはできないのかなと、ちょっとまた違うところで、上のほうで検討してもらえたらなというのが私の意見です。ありがとうございます。

○多田納（京都市環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課担当課長）

ごみ箱の話ですが、しっかり市としては必要な箇所に設置していると思っておりますが、やはり食べ歩きの方でも、ごみ箱を設置していないところもあると思いますし、

やはりごみとなるものを販売しているところには、しっかり自前でごみ箱を設置してほしいと思っています。

ポイ捨ては、たばこのポイ捨てに加えて、食べ歩きのごみが多いと感じており、特に市のごみ箱を分析すると、例えば串であったりとか、そういうものでごみ袋が破けたりして、収集も大変になるということもありますし、例えばコンビニエンスストアであっても、繁華街のお店は、ごみ箱を設置していないところもありますので、市から働きかけもさせていただいて、置いていただいているところもあります。

そういった働きかけといいますか、特に食べ歩きのを売っているような事業者の皆様に対しては、ごみ箱を設置していただきたいということで、お願いはさせていただいているところがございます。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

補足ですが、鴨川を美しくする会さんほかとパトロールとかもしている中で、徐々に取組が広がっているというのがあるんですけど、ごみの分析をすると、やっぱり昼間はファーストフードのごみが多い。夜から朝方にかけては、ビールの缶とか、飲酒系のごみが多いというのは分かっています。パトロールと一緒に取組をしている中には、有名なコーヒーショップの店が三条の大橋の袂にあって、ごみ箱をそこのお店で置くことはなかなかしんどいけれども、コーヒーを買った方には、持って帰ってきてくれたら回収しますよというお店もあるというふうなことを、取り組んでいる団体さんからは聞いています。

ただ、そういう世界チェーンのお店は、それを公に言うと、やっぱり大きな動きにもなるから、やはり店長さんの御厚意で、お店の人へのアプローチといいますか、啓発をさせていただいていますという声を聞くので、システム上やりにくいお店もたくさん、チェーン店であると、フランチャイズとかであるとやりにくいのかなというところは感じるんですね。ただ、やっぱりお声かけとかと一緒にやろうという努力というか、皆さんの協力やお心がけが少しずつ広がっていくのかなというふうには取組の中で感じております。

以上です。

○倉岡（京都府京都土木事務所施設保全・用地課長）

先ほど看板のお話がありましたので、私、この4月から京都土木事務所施設保全課長で参りました倉岡と申します。これからもよろしくお願いします。

今看板のお話がありまして、おっしゃるとおり、薄くなって見えなくなっている看板、あと、今おっしゃったように、たばこの話とかもありますけれども、ちゃんと目的といい

ますか、鴨川条例に関してうまく説明できていない看板等がございますので、それは順次替えていこうと思っておりますので、今後ともそのようなことがございましたら、私ども京都土木、施設を管理しておりますので、言っていただければ、その都度更新等をしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。

以上です。

○金田座長

いろいろと美化活動に関わっていろんな御意見をいただきました。ここで初めて出てきたような議論もございますし、本日で終わりじゃこれございませんので、残念ながら終わりではないということです。またこれからも引き続き御議論をお願いしたいと思えます。

それでは、次へ進めさせていただきたいと思えます。

議事の4番目ですが、「鴨川四季の日」の関連イベントということです。

これも事務局から説明をお願いします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

続いて、議事4の「鴨川四季の日」の関連イベントということで、まず、お手元資料4の1、鴨川納涼2025について事務局から御説明させていただきます。

本日は、京都府観光室の西田室長が出席しておりますので、説明をさせていただきます。よろしくお願いします。

○西田（京都府商工労働観光部観光室長）

失礼いたします。京都府の観光室長をしています西田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

例年ですと、鴨川納涼につきましては、事務局をしています京都府の観光連盟のほうから皆様に御説明をさせていただいているところでございますけども、今年度の鴨川納涼から、京都府の観光室と京都府観光連盟、両方で事務局を構えて実施するという形に変わっております。私のほうから説明をさせていただきます。すいません、着座にて御説明をさせていただきます。

お手元の資料でございます。毎年、府民会議の皆様方の御理解、また、あるいは、関係の皆様方に御協力いただきまして、鴨川納涼を実施させていただいているところでございます。今年度も一部見直しを図りまして、鴨川納涼2025として開催を予定しております。

この鴨川納涼につきましては、開催趣旨のほうに記載をさせていただいておりますとお

り、鴨川の美化啓発活動として昭和44年から歴史あるイベントとして実施をされ、京都の夏の風物詩として府民の皆様、観光客の皆様に定着をしているということでございます。平成26年から納涼実行委員会という形で主催をしております。

2番、主催にありますとおり、この納涼実行委員会、委員長に京都府の副知事を置きまして、こちら、記載の各団体様、協力の皆様の下、皆さんでつくり上げていっていると、こういう形でございます。

今年度ですけれども、開催につきましては、8月2日土曜日、3日日曜日での開催を予定しております。

開催場所は例年と同じく、鴨川の三条大橋から四条大橋の右岸河川敷を予定しているところです。

資料の6番、下のほうになります。実施の内容でございますが、まずはイベントの目的であります河川の美化啓発ブース、環境啓発ブースの設置をさせていただきます。それ以外に、今年度は、実は今観光のほうで、川の京都というような取組をしまして、府域の、もちろん鴨川も含めた府域様々な川、こちらのほうの魅力を多くの方に伝えていくという形で、事業として、観光の事業として、川の京都というのを実施しております。今回この鴨川納涼におきましても、川の魅力をいろんな方に伝えていきたいと思っております。例えば飲食ブースにおいて、川の美しい写真、パネルを展示したり、あるいは、川が持つ歴史、文化を伝えるようなパネルを展示したり、あるいは、川のあちこちで行われております美化活動、こういったものを広報するパネルを展示したりという形で、川の魅力を多くの方に知っていただく、そういうのがより伝わるような鴨川納涼にしていきたいというふうに考えてございます。

そのほか、例年どおり、物販のエリアでは、府内の市町村ブース、それから、資料の裏面に参りまして、全国の郷土のブース、伝統産業のPR、友禅流しの実演などなどの実施を予定しております。

本事業の実施に当たりましては、まず、安心安全な取組になることを第一に実施をしたいというふうに考えております。実は昨年度、ゲリラ豪雨によります河川の急な増水がございまして、2日目の開催が中止という形になってございます。また、今日も大変暑い日になっておりますけれども、熱中症による救急搬送も昨年出ております。最近新聞の報道でも見かけるようになったんですけれども、長年続いていっています伝統行催事あるいは地域の花火大会、こういったものが時期を変えて実施すると、こんな事例も出てきております。

こういった状況を参加の皆さん全員がよく共有しまして、安全安心な対策、これを十分に行った上で、多くの方に御来場いただき、鴨川に親しんでいただけるように、イベントに取り組んでいきたいというふうに考えてございます。どうぞ引き続き皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

続きまして、カモシネマという、映画なのですが、今日、立命館大学の学生さんが来ておりまして、カモシネマの今年の取組について説明いただくこととなっております。よろしくお願いします。

○水垣（カモシネマ20実行委員会代表）

失礼いたします。私は、今年で20回目になるカモシネマをやらせていただいておりますカモシネマ20実行委員長の水垣と申します。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

お手元の資料4の2、鴨川納涼2025の次のページを見ていただきますと、カモシネマ20についてという資料がございます。

先ほども申し上げましたとおり、平成17年度から開催させていただいておりますカモシネマという野外映画上映会ですが、葵公園でさせていただいております。今年で20回目、20周年を迎えさせていただいております。今年の日程は、令和7年8月10日、予備日が8月11日にしております。場所は昨年と変わらず葵公園、京都府立鴨川公園葵地区となっております。

今年度の企画は、まだ構想中の段階ではありますが、日中企画として、縁日企画のようなもので、「かもがわであそぼ」という子供たちが楽しめるような企画を検討しております。また、今年度は、葵公園のステージを活用したステージ企画等ができればなと思っております。

2番目のSDGsの方は、テーマに沿ったものを、検討しております。こちらは、地元住民の方に御協力いただき、何か企画ができればなと現在考えております。

3番目のクリーンハイクは、まだコース自体は未決定なのですが、合同パトロールや定例クリーンハイクと同じように、鴨川デルタのほうから二手に分かれて、清掃活動をさせていただければなと思っております。

4番目の野外映画上映会ですが、今年は、映画「侍タイムスリッパ」という、昨年度

日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞した作品をこちらで上映させていただこうと思っております。また、当日、日程が合いましたら、「侍タイムスリッパー」の映画監督である安田監督にお越しいただき、座談会等ができればいいなと思っております。

また、その下にございます、プレイベントでございます。今週末になりますが、6月21日土曜日、カモシネマの規模拡大と、知名度向上を目指して、京都駅ビル様と、本日いらっしやいませんが、副座長の川崎教授との協力の下で、我らカモシネマがそちらのイベントに出展させていただくというもので、昨年度、カモシネマ19で上映させていただきました京都貴船を舞台とした「リバー、流れないでよ」をプレイベントで上映させていただこうと存じております。

すいません、めくっていただきまして、裏面ですが。

こちら、今年の映画「侍タイムスリッパー」の広告のポスターになっております。こちらの素材は監督から御提供いただきました。映画の舞台が京都・映画村周辺であり、安田監督も京都出身ということで、京都つながりで親和性が高いものがございますので、今年も皆様の御協力を得られたらと思っております。よろしくお願いいたします。

○金田座長

ということで、「鴨川四季の日」の関連イベントの紹介ですが、何か御質問など。

雨宮さん、どうぞ。

○雨宮

すいません、カモシネマについて、本当に応援しています。個人的には、ちょっと私の亡くなった父が映画のプロデューサーもしていたことがあって、本当にフィルムコミッション的なことを現役の頃からもさせていただいて、歴代の代表の方の応援もしてきたんですけども、ちょっと意見と提案ということで数点お話ししたいと思うんですけども、「侍タイムスリッパー」、本当に日本アカデミー賞の作品賞を取った段階で、京都の映画人はみんな歓喜しました。歓喜した割には、その後、京都の映画館で追加上映をしていないんですよ。何でせえへんかったんやろかというのがすごい私は不満なんですけども、ということは、「タイムスリッパー」をスクリーンで見られる機会として、カモシネマ、このタイミングで、ニュースが好きな人に届けば、例年よりもはるかに多くの人が行きます。ですから、例年とは違う安全対策を心がけておかないと、あそこのキャパからすると、事前申込みもないはずなので、ちょっとそこは心しておかなあかんかなというのは、老婆心ながら思うのと、せっかくSDGsとか、かもあそとか、しかも、クリーンハイクもやっ

て、夕方から見ようということなので、もしキャパオーバーするようやったら、基本そういうことも参加してくれた人、一緒に、じゃ、見ましょうねという、ちょっと縛りをかけるぐらいのこともあっていいのかなというような気がします。

今年については、それが提案なんですけども、カモシネマが始まったいきさつって御存じですか。

○水垣（カモシネマ20実行委員会代表）

そうですね。僕も直接誰かから聞いたわけではないんですけども、前代表のほうからちょっと小耳に挟んだ程度なんですけれども、もともとは立命館大学、同志社大学、近畿大学、関西大学、関西学院大学などの広告研究会が加盟する関西広告連盟が、一緒になって映画を上映しようというので始められたという話を聞いています。

○雨宮

そうですね。20年ほど前に、映画「パッチギ！」が京都を舞台に制作されて、井筒監督が、京都のいっぱいいる大学生にもっと映画に触れてほしい、そうした思いを伝える中で、各大学の広告研究会や広告研究のサークルが横につながって頑張った。今は立命が頑張ってくれているんですけども、もうそろそろ、いつもの形を1回考え直してもいいときじゃないか。

まず時期。暑い暑いときに、映像があるからそこに川面の虫がいっぱい飛んでくる。蚊に刺されながら、でも、みんな好きで見ているんですよ。なので、ちょっと時期を、夏休みやからしゃあないのかもしれないんですけど、秋の岡崎でやっている京都学生祭典の、あれは1日限りですけども、あそこ、土・日・月がいつも3連休なんですよ。だから、そのあたりに持って行って、向こうのイベントと学生イベントとしてリンクして、例えば2作品やるとかね。場所は目玉の松ちゃんのあるあそこでもいいと思うんですけど、何かちょっと8月10日、この時期にやることについては、一度、20回を終えたところで考えてみはってもええんちゃうかな。

それと、京都映画賞、今年は安田監督には、功労者賞は出ましたけども、作品賞は「碁盤斬り」になってしまって、あれ、みんなで、しまったと思ったわけです。「タイムスリッパー」が日本アカデミー賞を取ったときに。恐らく市役所前での野外映画会、これ、10月にやるんですけど、多分、「タイムスリッパー」と「碁盤斬り」を2本やることになると思うので、ちょっとまとまらん話になりましたけど、要はもう1つある、京都国際学生映画祭ってありますよね。あれとか、さっき言いました、学生祭典とかも含めて、横につ

ながらながら、一番よい時期、要は、やる側も見る側もよかったねと言える着地点を、一度 20年を振り返って次に行かないと、単に同じパターンを続けているだけでは面白くないと思うので。だから、そうした努力、頑張る部分については、京都の映画好きのおっちゃんたちは何ぼでも応援しますから、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

以上です。

○水垣（カモシネマ20実行委員会代表）

ありがとうございます。

最初に御指摘いただきました安全対策の件に関しまして、昨年度も1件盗難の事件が発生いたしておりまして、私たち自身も防犯対策しっかりやっていかなくてはというのは考えているところでございます。また、今年作品に関しましても、大変話題となっている、人気の高い作品になっていることは私自身も感じており、防犯対策も、警察と相談し、市、府の方々と一緒に協力していけたらなと思っております。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

事務局です。このカモシネマの取組ですけど、先日下鴨の連合自治会さんともお話しして、地元の下鴨紅葉踊りとかいうのがありまして、そこのおじいちゃん、おばあちゃんが、映画のやる直前に踊ってみようか、家族も孫もつれて見てもらおうか、というようなお話も出てきたり、逆に地蔵盆がその後8月30日にあるんですね。盆踊りもする。下鴨神社の正面の楼閣の前でやぐらを組んで。それに、この方カモシネマの学生たちが行って次は協力する。各地のお祭りでもそうですが、地元自治会としては、高齢化したり、人材不足というのか、成り手不足というのか、なかなか若い人たちが地元の行事に来ない課題がある。そこへ若者が定期的に参加して、一緒に地元文化の交流もしながら地域を盛り上げていこうというような話が少し進んでいるということがあるというのを御紹介したいです。

また、SDGsの取組も、カモシネマをする下鴨地区は、きれいだよと。大学の天文学のサークルが夜空の美しさを紹介するとか、野鳥の会の皆さんに協力して、鴨川付近にはたくさん鳥がいて興味を持ってもらえるようにとか、鴨川の水質調査をしてpHというんですか、そこにいる虫や魚きれいな水質でないと住んでいないんだよというのを、学生たちが協力して出展いただいている。工夫はしているんですけど、なかなかまとまりというのは、やっぱり学生さん、しんどいところもあって、さらに、予算も少ない中で、コンペにどんどん出て、予算を獲得して集めてくる、私どもはコンペの開催情報とか、見せ方の工夫を協力している。学生はバイト先とかのお店を回って、PRして予算を取ってくるとい

う、補助金とかそういうのに頼らない、すごく自主的にやられていて、すばらしいなというふうに思っておるということを紹介だけさせていただきたいと思います。。

○西村（京都府建設交通部河川課管理係技術指導員）

すいません、安全対策について御指摘をいただいております。先日、地元の自治会の方にお話を聞いたときにも、「非常にいい映画を選んだね」という言葉の後に、「人がたくさん来て大変だよ」というアドバイスをいただいております。一緒に地元のほうへ行っておりまして、警察や消防に対し、事前にこういう映画を選んで、人がたくさん来ることも想定しておりますので、困ったときには助けてほしいということを相談に行くように、京都府からもアドバイスをさせていただいているところでございます。

葵公園には、人がいっぱい入ったとしても、大体400人ぐらいでしょうか、去年が270人で、そこそこ入っておりまして、400人も入ったら大変混雑するのかなと思います。横に道路がありまして、道路の歩道上から映画を見るような事態になれば、非常に危険な状態だということは、学生とも共有しているところでございます。

以上でございます。

○雨宮

本当に話を聞いて安心もし、そして、もう1つ、もう1回言うときですが、申込みもせずに開催する、来た人どうぞのイベントですから、来て見れへんのかとなったときのクレームに対して、そこは誰が対応するんでしょうねというのは、私は第三者として思います。だから、逆に言うと、今回については、事前申込み制を取るか、2日間やるか。それでも人が見に来てくれる演目なので、ぜひ多くの人に私は見てほしいし、見てもらうためにどうしたらいいのか、そのためにみんな来た人が満足して帰れるようにするために逆算して、どういう募集の仕方、告知の仕方をするのかということを思いますね。

それと、やっぱり私思うんですけど、こういう情報が行くと、大概シニアの人がいっぱい来ます。でも、やっぱり京都の10人に1人は大学生で、志ある大学生、京都の人はみんな応援しているんですよ。だから、逆に言うと、大学生がまずいっぱい来てほしい。だから、君たちのネットワークで、一緒に見ようよ。そこへ、おっちゃん、おばちゃんたちがちょっと寄ってくるみたいなのが理想やと思っているので、シニアの人でゴった返して、文句言う人ばかり来てしもたという想定と、そっち側の明るい想定と、どっちをてんびんにかけるかというのを、やっぱりこれは楽しんで工夫したらいいと思うので、頑張ってください。

以上。

○金田座長

いかがでしょうか。まだ何か御発言ございましたら。

短くお願いします。

○大原

カモシネマ、20年やっていらっしゃるということで、素晴らしいと思います。これ、もう8月10日にこんなんあるでと告知オーケーなんでしょうか。それとも禁止なんでしょうか。1つ。

もう1つは、質問といいますか、ちょっとかけ離れた話というか、治水環境とかとは関係ない話なんですけど、私が以前委員をやらせてもらっていたときに、鴨川歌舞伎というのをやりました。1回中止になって、実際やって、その2年間の間に。毎年やっていこうぜみたいな話だったんですね。それ以降多分やってないんちゃうかなと。カモシネマは続いていると。カモシネマの続く理由も何となく感じました。もしここにあるデータで、何で鴨川歌舞伎は続けられなかったのか、何かやっぱり地域と問題があったのか、それは検証されたのかどうかというのだけ、ちょっと私自身の質問で申し訳ないんですが、聞かせてもらえたら助かります。

○水垣（カモシネマ20実行委員会代表）

ありがとうございます。

質問の1点目に関して、告知のほうですけども、我々のほうの勝手なんですけれども、プレイベント、今週の6月21日が過ぎましたら、映画の名前も含めて告知を全面的にSNS上でしていこうと考えておりますので、カモシネマの開催が8月10日ですよというのは全然言っていて構わないんですけれども、6月21日が過ぎた後に映画名を広報していただければと考えています。よろしくお願いいたします。

2点目の鴨川歌舞伎に関してなんですけれども、申し訳ないんですけれども、私もちょっと今初めて聞きまして、前代表からも鴨川歌舞伎という言葉はちょっと聞いていないし、2年前、僕が参加したとき、初めて参加させていただいたときも、そのような話が出ていた記憶はないので、申し訳ないんですけれども、そちらの回答ができないという状況になっております。申し訳ございません。

○大原

やりました。市川海老蔵を呼んで。

○杉江

それは全然カモシネマとは違う。京都府のやつ。

○大原

いや、河川課で。

○杉江

やりました。2回やりました。

○大原

2回というか、1回中止になって、もう1回あって。あれ、何で続かへんかったでしょう。

○杉江

いや、あれは京都府さんが山田知事の時代。

○大原

また今度、歌舞伎の映画、多分日本アカデミーを取ると思うんですよね。だから、結構来ているところに便乗して、鴨川で歌舞伎をまたやってもらえたらなというふうに思っております。

以上です。

○桑場（京都府京都土木事務所長）

すいません、京都土木事務所長でございます。

私、今から説明させてもらうのは、所長ではなくて、たまたまそのときの担当者でございまして、ちょっと誤解を招いていたかもしれませんが、市川海老蔵さんが来られて公演したというのが、その以前に前山田知事と海老蔵さんがお約束をされていたということをもって、そのために一度やりましょうということでやったということでございまして、今のカモシネマみたいなように継続してやっていきましょうというものではなくて、そのお約束を果たしたというものでございまして、開催内容が全く違うということになっております。

以上でございます。

○金田座長

すいません。そうしましたら、5番目でございます。第8回鴨川オオバナミズキンバイ駆除活動開催結果等ということでございますが、事務局からお願いいたします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

お手元の資料5ですが、本日、京都府の自然環境保全課が出席していただいておりますので、説明をお願いします。

○川田（京都府総合政策環境部自然環境保全課自然環境係技師）

京都府自然環境保全課の川田と申します。

オオバナミズキンバイ駆除活動結果や、昨年に引き続き今年度5月にも京都市で被害木が確認されたクビアカツヤカミキリについて情報提供させていただきます。よろしくお願いいたします。座って失礼します。

まず、資料5で、鴨川における特定外来生物オオバナミズキンバイ駆除活動の実施結果について説明させていただきます。

例年6月末から7月上旬に実施している本活動ですが、今年度は開催時期を1か月早め、5月24日土曜日に鴨川の五条大橋から塩小路橋付近で実施しました。開催時期を早めることで、オオバナミズキンバイの開花、結実前に駆除することができました。

当日は、きょうと生物多様性パートナーシップ協定により本活動にも御支援いただいている京都中央信用金庫様にも御参加いただき、過去最大人数の138名での活動となりました。駆除重量も過去最高の約1,290キログラムとなり、処分は京都土木事務所様にお世話になりました。

今年度は、昨年降雨の影響で実施できなかった中洲でも駆除に取り組みましたが、中洲で繁殖しているオオバナミズキンバイは陸生化しており、スコップや三ツ又鍬などを用いた力仕事となりました。小雨が降るときもありましたが、皆様に御協力いただきましたおかげで、多くのオオバナミズキンバイを駆除することができました。

今後とも、専門家などの意見を踏まえ、継続して本活動を実施していきたいと考えております。

オオバナミズキンバイについては以上になりまして、資料最後のほうにつけております特定外来生物であるクビアカツヤカミキリについて情報提供させていただければと思います。

昨年にも注意喚起させていただきましたが、今年度も5月に京都市内で被害木が新たに見つかりました。チラシのとおり、クビアカツヤカミキリは、主に桜や梅、桃などのバラ科の樹木につき、幼虫が内部から食い荒らします。木からは大量のフラスと呼ばれる幼虫の糞と木くずが混ざったものが排出され、被害が進むと枯れてしまいます。成虫はお盆あたりまで見られますが、フラスは10月頃まで確認できるため、チラシにありますような特

徴を持ったフラスを見かけましたら、お住まいの市町村か当課まで御連絡をお願いします。

また、クビアカツヤカミキリを含め、その他特定外来生物や外来生物法について説明しています、きょうとの外来種ハンドブックも併せてお配りしていますので、よろしければ御一読ください。

説明は以上になります。

○金田座長

ありがとうございました。

何か御質問、御意見などありましたらお願いいたします。

お願いします。

○藤井

1年ぐらい前に区役所で、きょうと生物多様性センターのニュースレターを見て、オオバナミズキンバイの駆除について、ここと連携しているんですかと質問したときに、連絡を取っていますということだったので、今回の資料にも協力にきょうと生物多様性センターというのが入っています。この前、京都府の広報課長さんから、知事講演録の送付についてということで、この本を家に送ってもらったんです。これを見たら、京都府の施策というて8つのビジョンを挙げてはるんですけども、その中で、共生による環境先進地・京都の実現ということで、きょうと生物多様性センターを設置しましたと。生物多様性をただ環境問題として捉えるだけじゃなくて、文化や暮らしを支えてきたものとして捉え、きょうと生物多様性センターの運用を開始しますと書いてあるんです。

僕、1回、このオオバナミズキンバイの話はもう5年ぐらい前からずっとここの会議で聞いてきているんですけど、一遍知事さんが言うてはるビジョンのきょうと生物多様性センターの方に、15分でも30分でもいいですから、オオバナミズキンバイ、このままでええんか、それから、将来どうなるんかとか、ほかの県ではどうなってるんやとか、15分でも30分でもええから、1回話、ここで、ここと違っていいですわ、一遍教えてほしいと思っています。いつも駆除して、何ぼ、何キロ何キロやけど、この前聞いた話では、ここは減少しているけど、ほかは増えているとか、そういう話やったので、1回将来を見越した話を一遍、滋賀県とか救援ボランティア左京とかきょうと生物多様性センターとか協力されているんですけど、この辺の人に将来のことを、一遍話をしてほしいと思います。

○金田座長

今すぐはお答えできないと思いますが、可能な状況になれば、また府のほうから

御連絡をいただけたらと思います。

余計なことですけど、オオバナミズキンバイというのは、前は私も花が咲いていなかったら分からなかったんですけども、この間は、陸のやつを見ましたら、大分状態が違うんですね、あれ。難しいですね。本当に川の水面にある場合と、実際に陸上に生えている場合とで、葉の状態とか何かも違いますし、非常に分かりにくい生物でしたね。花が咲いていると、黄色い花がよく目立つんですけども、そうでなくてもたくさんありましたね。ともかく、関心を喚起するようなことも、そういう意見が出ていたということをお伝えいただけたらと思います、センターのほうに。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

○中島（京都府総合政策環境部自然環境保全課主幹兼係長）

失礼します。自然環境保全課、中島と申します。

5月の活動には、金田座長にも御参加いただきまして、皆様、小雨の中、非常に頑張って活動していただきました。昨年の4月に本会議でセンターの協力もというお話もいただいて、今回はセンターも一緒に、事前研修会から協力しまして、オオバナの被害がどういふものなのかというのを、滋賀県の講師の先生にお世話になりました。クローズドの研修会ではあるんですけども、そういった講演資料を皆様に見ていただいたり、また、パネルでPRするような機会も設けて啓発をしていきたいと思っております。御参加いただいた皆様には非常にお世話になりまして、ありがとうございました。

以上です。

○藤井

ニュースレター2号は出てない？

○中島（京都府総合政策環境部自然環境保全課自然環境係主幹兼係長）

出ておりますので、またお送りします。

○金田座長

いかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、6番目ですが、「鴨川四季の日」の実施状況と予定等についてでございます。

事務局から説明をお願いいたします。

○西村（京都府建設交通部河川課管理係技術指導員）

「鴨川四季の日」の実施結果と予定につきまして御説明をさせていただきます。座って

説明をさせていただきます。

お手元の資料6を御覧ください。

資料6の1ページ目でございます。

「鴨川四季の日～春～」は、令和7年3月1日から令和7年5月31日までとしておりました。

1ページ目のほうに、この間実施されました関連イベントを載せております。

まず、鴨川を美しくする会さんと京都鴨川ライオンズクラブさんが主催されました第51回鴨川茶店が4月5日土曜日、6日日曜日に、府立植物園横の「なからぎの道」付近で開催されました。両日で7,500名もの方に来場いただき、咲き始めの紅枝垂れ桜を見ながら、琴や尺八の演奏を楽しんでいただいたところでございます。

次に、裏面の2ページを御覧ください。

この間に実施されました河川美化活動について掲載しております。昨年から連携しておりますが、4月22日火曜日のアースデイに合わせたアースデイ・クリーンアップ・イベントと称しまして、烏丸御池下ルにあります新風館から道路清掃をして、鴨川まで移動して、鴨川清掃を約50名の方々に実施していただきました。

次に、鴨川を美しくする会、鴨川流域ネットワークが主催されました第1回鴨川定例クリーンハイクが4月29日の祝日火曜日に実施され、274名の方に御参加いただきました。前日からの雨で非常に心配したんですが、開始前には雨も上がり、何とか実施ができました。

次に、3ページ目を御覧ください。

令和5年9月から毎月1回実施しております鴨川合同パトロールの関係を載せております。第14回鴨川合同パトロールを3月14日金曜日に、これはテンプル大学ジャパン京都校の学生を含む33名で実施したところでございます。

次に、第15回鴨川合同パトロールを、4月19日金曜日に、こちらのほうは京都中央信用金庫の方にも御参加いただきまして、合計31名で実施したところでございます。

さらに、第16回鴨川合同パトロールを5月30日金曜日に実施し、こちらのほうは鴨川河川敷でよさこい踊りの練習をされている学生さんたちも御参加いただきまして、35名の方々に実施したところでございます。

いずれも参加団体が徐々に増えており、こういう取組の輪が広がっていることを実感している状況でございます。

4ページ目の一番上に第16回の写真を掲載しております。

次に、4ページでございますが、情報発信といたしまして、鴨川流域ネットワーク主催の鴨川を美しくする会結成60周年記念写真展示会が、3月25日火曜日から31日月曜日まで、府立植物園の展示室で開催されました。

その間の3月29日土曜日には、私たちの鴨川教室と鴨川クイズ大会ということで開催され、子供たちが54名、大人が44名参加いただいたところでございます。非常に大盛況の中でクイズ大会が行われました。

次のページを御覧ください。

毎回同じでございますが、京都府のホームページと府庁のロビー展示を実施したところでございます。

次に、環境学習です。鴨川探検！再発見！第74弾「春の鴨川 水辺の自然観察会」が、5月31日土曜日に開催され、小学生9名、保護者9名が御参加いただいたところでございます。

次に、6ページ目を御覧ください。最後のページでございます。

今期の「四季の日～夏～」 「四季の日～秋～」 「四季の日～冬～」の期間と、その間に予定しております関連イベントを掲載しております。

説明は以上でございます。

○金田座長

ただいま説明していただきました「四季の日」についての報告で、何か御質問などありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

そうしましたら、議事は以上なんですけれども、議事の最後ですが、その他がございませう。その他で、どうぞ。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

事務局です。

本日、土居メンバーから、京すずめ文化観光研究所の取組について資料を配付いただいております。

土居メンバー、よろしく申し上げます。

○土居

京すずめ文化観光研究所の土居でございます。

「京雀」、これは江戸時代の初期に、実際に京都の案内記としてございましたものを21世紀に復活したいと思い、京すずめを創立いたしました。現在、来年が創立25年になります。

して、創立記念行事として、第6回京都への恋文の公募をさせていただいております。

それで、今日は、チラシは前々回から作っておりません。ネットだけで公募しております。このリーフレットを御覧になりましたら、由来のところに、「京雀」の案内記が実際に、グリーンを表紙が3冊、上中下ございますが、その隣にありますのが、錦市場の発祥の地、伊豫又のお魚屋さんでございます。こういった具体的に実際に暮らしの中で京都のことを語れる、そういう京都という町に恋文を送るというコンテストを2008年からしております。

京すずめ学校の京都愛物語、そのオープニング講座で、川端康成の愛した京都という講座を、川端香男里先生に御講演いただきました。それがルーツでございまして、ここで「古都」の映画もPR版を上映させていただきましたが、御覧いただきまして、審査委員長は川端先生から井上章一先生に代わっておりますが、裏面を御覧いただきましたら、京都への恋文大賞、京都からの恋文大賞、そして、審査委員長賞は、今回は、京すずめ井上章一賞として、いろいろ賞をつくっております。

できれば、小学生の方から御高齢の方まで、簡単にネットでぴゅっとボタンを押すだけで応募ができます。川柳でも、写真でも、俳句でも、また、400字以内の文章でも、絵手紙でも何でも結構です。どうぞ京都への恋文を御公募いただきますようお願い申し上げます。今回、小学生からも応募が参りまして、とてもうれしい悲鳴を上げております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○金田座長

杉江さん、どうぞ。

○杉江

それじゃ、杉江のほうから、ちょっと今、時間をいただき、特に今回から新しい委員さんが見えでということで、中には見られた方もおられると思うんですけど、ちょうど今から90年前、昭和10年、1935年に鴨川、高野川が大氾濫を起こしました。そのときの記録映像、トーキーですけども、それをちょっと見ていただき、いろいろといい機会ですので。ちょうどこれが起こったのは、昭和10年6月29日、今月の最後の日曜日、90年前にこれは起こりました。それから、ちょうど明くる年、昭和11年から京都府が10年少々かけて、今の風貌に改修されたということになっておりますので、貴重な映像ですので、ぜひとも見ていただいたらいいと思います。

どうぞ。

(動画上映)

○杉江

当時、この洪水のとき、当会の初代の事務局長の池田さんが、目の前で鴨川の状況を見ていたわけですが、上流から牛が数頭流れていたと、それを見てびっくりしたという話をおっしゃっていました。

このときの雨量が269.9ミリという形で記録に残っております。

そして高野川と鴨川のほうの架かっている橋が32あったんですが、その大半が全部流出、41あって、そのうちの302が流出とか崩壊になったということです。

一応今の記録映像ですけど、そこでちょっと鴨川の会が所蔵しております、そのときの鴨川に架かる橋のほうの崩壊された写真等もありますので見ていただきたいと思います。それとあと、資料のほうの最後にありますね、両面の。これが、最近のほうの、最近言うても、台風によっての増水とか、それから、護岸が削れたときとか。

これが、映像をちょっと見ていただいたのがそうですけど、葵橋の流出ですね。

次、お願いします。これが出町橋。

次、お願いします。これは、三条大橋は、右側のほうの奥に見えるのが三条京阪の駅です。駅舎ですね。流れた後に、これ、木で造った仮橋のときを撮影されたものです。

次、お願いします。これが、先ほど映っていましたけども、奥が南座ですね。これが、四条京阪のプラットフォームが鴨川沿いにありましたのでね。見てください。橋がちょうどこれ、昔こういう橋で、これ、以前、たしか私の記憶では、渡り初めもあったようなところで、その上に電車が走っているというような状態がありましたけどね。

次、お願いします。これは四条京阪のちょっとリアルな写真です。

次、お願いします。これは以前、京阪電車が鴨川の左岸側の土手のところを走っておりました。その東側が、疎水があったわけですね。だから、疎水と鴨川がつながってしまったと。御存じのとおり、今では疎水、それから、京阪も地下に走っておりますけど、そういうような状態で、以前はこんな状態でした。

次、お願いします。これが正面橋ですね。これ、崩壊したときの跡です。

次、お願いします。これは奈良線のほうの陸橋のところですけど、実は一説によると、私が聞いたところによると、上に人が立っていますけど、流木が流れて、ここに全部たまって、また、陸橋も危ないということで、何かダイナマイトで流木を爆発して、やっと水が通ったということを聞いております。

次、お願いします。これは鴨川のほうの平成30年のときの豪雨の状態です。これ、三条のスロープを下りたところね。みそそぎ川のほうの小橋のところです。

次、お願いします。これは三条を橋の上から見た状態です。これが、護岸が削れたときですね。こんな状態になりました。今まではこうやってきれいに直っております。こういう状態になっております。

そこで、実は、これが、平成30年のときに、台風18号で、ちょうど雲ヶ畑に行く手前のほうの、これ、ちょうどあれですわ、関西電力の水力発電が山幸橋の下流にあるんですけど、その上流のほうの水の取入口のこの南側の山が崩れてきて、水路が埋まってきたというので、ちょうどこのときの写真は、関西電力のほうの工事の関係が、流木、土砂崩れの土砂をのけるためにやっていた作業の写真です。

次、お願いします。これがこんな状態です。こういうのが結局鴨川に流れ込んで、最終的には下流のほうの中州関係が結構たまっているでしょ。だから、そういう状態で。

次、お願いします。これがそうです、上からずっとね。下のパイプラインというのが、先ほど言うた関電の水が上流から下流のほうのタービンのほうに送っているという、そのパイプラインです。

次、お願いします。これがそのための倒木した流木を止めるために土木事務所がつくっていただいて、すごいそこで止めると。でないと流木が市内になってくるとかなり危険ですのですね。

次、お願いします。こういう形で止まるわけです。これがそうです。すごい量です。

次、お願いします。これぐらいやったかね。

そこで、ちょっと電気、もうつけてもうたらいと思うんですけど、先ほどそのほうの主な分の、ちょっとこれ、コピーしたのを見ていただいたら分かると思うんですけど、今現在、皆さん御存じのとおり、日本列島の山がそうなんですけども、かなり荒廃しております。おまけに野生動物がすごく繁殖して、御多分に漏れず、鴨川沿いの山々も、鹿なんか、下草とか、それから、木々のほうの新芽を食べたりして、物すごい荒廃しております。一旦雨が降ると、すぐに土砂が鴨川に流れ込んで、今のような状況になって、現実問題、あっという間に鴨川のほうの下流のほうまで流れていって、それこそ陸地化して、先ほど出ていたオオバナミズキンバイなんかも、陸地化されたオオバナミズキンバイがぐんぐんと成長していると。そして、おまけに、中流もそやし、上流もそうですし。今一生懸命土木事務所のほうが上流から、今日も河川整備のほうの、載ってございましたけども、

それこそ取っても取っても切りないぐらいにね。

最終的にはそれがまた、先ほどの動画にあったとおり、その当時は結構だった広い川だったんですけども、昭和11年からの河川改修によって、護岸工事も無事締まり、そして、川床を深く掘り下げて、さすがに今時点では、少々の雨には強い鴨川なんですけど、何せ、先ほどあったように、護岸のほうももう70年、80年たっております。だから、特に、ましてやこうやって上流からの土砂が流れ込むと、上げ底になって、特に鴨川の場合は高低差が非常にきついですので、下流に行けば行くほど土砂もたまってきて、やはり住宅地のほうに何かあるようなことも心配する状態です。

特に皆さん御存じのとおり、今線状降水帯というのが日本列島、特にこの間も東北のほうとか、また、九州でも起こっております。鴨川に、京都盆地のほうにそういう状態が発生すれば非常に危険な状態ということもあります。環境も大事ですけども、そういった面において、治水問題も、やはりこういった府民会議において、皆さん方と共に、市内の都市河川としての位置づけの中で共有しながら、よりよい河川、良好な河川づくりに、いい議論が共有されればと思っております。

以上です。

○金田座長

ありがとうございます。

今、杉江さんおっしゃらなかったのも、ちょっと付け加えておきますと、現在の鴨川の所々に落差がつくってあって、川床を平たくしてあります、その間ね。ああいう状態にしたのも、昭和10年の大洪水の後、何年かかったのかな。10年ほどかけたんですかね。それで改修をして、現在のような形になっています。ですから、鴨川のもともとの形もなかなか理解されていない方も多いのですが、そういう形で、鴨川の構造自体も変えて、都市河川としていいようにしていると、現在のような形になっているということを、ちょっと新たに鴨川府民会議のメンバーになられた方も含めまして、御理解いただけたらと思います。

かつて、もう大分前、30年ほど前になりますかね、平安京ができて1200年のときに、京都市が1000分の1の平安京の復元模型を作ったことがあるんですが、これ、私もメンバーで、そのときに、まだ若かったものですから、かなり時間があって、相当時間を割いて、鴨川と桂川の河道を全部復元しました。その復元結果が今1000分の1模型になっていて、京都市立図書館のところですね。京都アスニーという今出川通をずっと西へ行ったところですが、そこに今でも展示してありますので、御覧いただけますが、それを作ってから20年

後に、平安京復元模型から20周年という記念シンポジウムをやって、あれを訂正せんならんのかどうなのか、間違っているとこないかとかいう議論をしたんですが、そのときには、まあ、あれでいいやろうという形になりまして、もっとデータが出ればまた別ですけども、今のところそういうことですから、古い形の川の河道の形などは、今のところあれを見ていただくのが一番古い状態は正確だろうと思います。

その後、いろいろ洪水が起こったり、いろいろ変化はしていますけれども、最近では昭和10年の洪水が一番激しくって、そして、改修されて、現在の状態になっているという流れを御理解いただけたらと思います。ちょっと付け加えさせていただきました。

それでは、本日、きっちり予定の時間でございます。珍しいことですが。それでは、本日の準備していただいた議題は以上でございますので、本日の鴨川府民会議はこれまでというふうにさせていただこうと思います。

あと、事務局のほうから連絡等お願いします。

○藤田（京都府建設交通部河川課参事）

事務連絡です。

以降の開催日程をペーパーにて配付させていただいております。次回は9月10日水曜日、この同じ場所、京都ガーデンパレスで1時30分から開催いたしますので、参考にしてください。よろしくお願いします。

本日はお忙しい中、いろいろな御意見をいただきまして、ありがとうございました。これをもって終了させていただきます。

〔午後 4時00分 閉会〕